



【基本の数字】

設立 **126年の歴史**
1899 2025
1899年12月

24
標榜診療科数

【診療の数字】

2024年度実績

6,665台
救急車搬送台数
12,244人
救急患者数

本院の救急車搬送台数は年間6,500台を超えており、国立大学病院としては全国でもトップクラスの診療実績を誇っています。また、本院は2024年に京都府の救命救急センターに指定され、重症および複数の診療科領域にわたる救急患者さんを24時間体制で受け入れるためのEICU(救命救急センター集中治療室)を20床備えています。このように、本院では京都府内の第3次救急医療機関として高度な専門的医療を総合的に提供しています。

3,873人
教職員数
(2025年4月現在)

医師(※)	1,190人
歯科医師(※)	22人
看護要員	1,465人
薬剤師	116人
その他	1,080人

(※) 医員含む

1,131床
病床数(2025年4月現在)

6,127人
難治性疾患患者数

2024年度は延べ5,253名の指定難病患者、延べ874名の小児慢性特定疾患患者が本院を受診しました。全身性エリテマトーデス(564名)、パーキンソン病(391名)、潰瘍性大腸炎(321名)など、様々な疾患に対して診療を行っています。

2,008件
介護保険意見書提出数

【診療の数字】

2025年度実績

2,561人
1日平均外来患者数

23,423人 **11.1日**
年間新入院患者数 平均在院日数

134件
臓器移植件数

本院では肺移植・肝移植とも日本一の実績を有しており、2025年3月末現在、肝移植は2,235例、肺移植も389例を超えています。2023年11月には世界初となる生体肺肝同時移植を実施するなど、先進的な取り組みを実施しています。

290件
分娩件数

【研究・治験の数字】

2024年度実績

97.12%
患者紹介率
125.96%
逆紹介率

11,489件
年間手術件数
5,647件
うち日帰り手術件数

33件
医師主導治験実施数

本院は、1型糖尿病の患者さんに対し、同種 iPS 細胞由来膵島細胞シート(OZTx-410)の移植を行い「iPS 細胞由来膵島細胞シート移植に関する医師主導治験」を実施しています。この医師主導治験において使用する OZTx-410 は、京都大学 iPS 細胞研究財団(CiRAF)で作製された「再生医療用 iPS 細胞ストック」を膵島細胞に分化させたものです。OZTx-410 は、移植までの期間が短く、コスト抑制にも寄与する、世界初の同種 iPS 細胞由来膵島様細胞移植として高い注目を集めています。この治験では、移植後の患者さんの経過観察を最大5年間継続し、安全性を確認することになっています。

98件
臨床研究数